



上山小学校「風のたより」

令和6年7月2日（火） 校長 有谷孝彦



学校経営目標：ふるさとを愛し、
自らの未来を切り拓く児童を育成する



確かな学力を身に付けるために！

梅雨が大好きだという人はそう多くないと私は勝手に思っています。私は髪の毛が猫っ毛で年齢も重なって梅雨の湿気に耐えられず、ヘアスタイルが整いません。いつもぼさぼさなのに何を言っているの？との声も聞こえてきそうですが、やっぱり雨が続きと気持ちも萎えます。7月の声を聞いてやや気持ちが上向きになってきましたが、この夏も猛暑のようです。皆さん、ご自愛ください。



さて、学校では「校内研究」に真剣に取り組んでいます。端的に言うと子どもの思考力・判断力・表現力を伸ばすために、毎日の授業中における「書く活動」を充実させようというものです。そうすることで、自分の調べた過程を明確にしたり、学びの定着を図ったりします。特に今年度から積極的に「書く活動」を取り入れておりますので、より活気ある授業が展開されております。この研究が実を結ぶためには職員の独りよがりでは達成できません。今後、なぜ先生方が授業の中で「書く活動」を仕組んでいるのかを子どもたちに理解させて力を付けます。

波

金子みすゞ

波は子供、
手つないで、笑って、
そろって来るよ。

波は消しゴム、
砂上の文字を、
みんな消していくよ。

波は兵士、
沖から寄せて一ぺんに、
どどんと鉄砲うつよ。

波は忘れんぼ、
きれいなきれいな貝がらを、
砂の上においでよ。



「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を終えて！

雨続きのおかげで、いつもは半分くらいしか水が貯まらないひょうたん池が満水状態です。3年生の女の子が私に「鯉が池の周りの葉っぱを食べています。ちゃんとエサをやっていますか？」と伝えにきました。まるで、そのまま陸に上がって歩き出しそうに言うものですから、エサをやりながら、「歩いている鯉」を思い浮かべつつ、子どもの想像力の豊かさに笑みをこぼした次第です。(*^*)



6月11日から17日までの1週間「長崎っ子の心を見つめる教育週間」に取り組みました。基本的に毎日の授業開放と体験的な活動や道徳科の授業を行いました。写真にあるように5日間の参観日があるので、普段はなかなか参観できない遠く離れた祖父母の皆様にもおいでいただいております、総数のべ630人を超える参観者でした。14日の道徳科の授業にはたくさんの参観者があり、保護者の皆様の教育に対する関心の高さに改めて感謝したところです。学校・保護者・地域が子供を取り巻く直近の環境ということを再認識し、心豊かな上山っ子を育てていきたいものです。(*^*)。

コーヒーブレイク☕

毎年同じような記事を書けるのは、私の1年間の精神状態が同じように巡っているのだと思います。

今年も、昨年見つけた本と同じような「長崎カフェおさんぽBOOK」をココウォークで見つけました。古めかしく「レトロ」で「チルい」(ゆっくりする・くつろぐ)カフェがずらりと紹介されておりました。私には似合いませんが、ぼんやりと過ごすひと時なんて素敵ですね。県北辺りの素敵なカフェを検索し、単車を飛ばして1日ゆっくり過ごすのもかっこいいけどなあ～ 無理かなあ～



☆上山小のHPもご覧ください。学校だより(表)の2次元コードをご利用ください。